



生育は停滞し、ふじの開花は4/25過ぎの見込みです。春の重要病害である黒星病・うどんこ病予防のため、今回から5月下旬までは散布間隔を10~12日として進めてください。

りんご

開花期の薬剤散布（定期）：蕾のセパレート状態（中心花と側花の蕾が離れた状態）～ふじの花が1~2輪咲いた時期

散布時期：4/25 ~ 4/30頃 *連休前

散布薬剤：水 100^{リットル}

展着剤 10ml *黒星病強化体系はササラ2,000倍使用

オルフィンフロアブル 25ml (7日前、3回)

サムコルフロアブル10 20ml (前日、3回)

対象病害虫：黒星病・うどんこ病・ケムシ類・ハマキムシ類

10アール当り散布量：400^{リットル}

【注意事項】

- ① **黒星病対策**：展着剤ササラ2,000倍を使用する。
- ② 訪花昆虫の保護のため指定薬剤以外は使用しない。

【開花期の散布】

散布日：4月 日

散布量：^{リットル}

落花期の薬剤散布（定期）：ふじ等の落花後（前回から12日後）

散布時期：5/7 ~ 5/12頃 *連休後

散布薬剤：水 100^{リットル}

展着剤 10ml *黒星病強化体系はササラ2,000倍使用

オンリーワンフロアブル 50ml (7日前、3回)

ユニックス顆粒水和剤 100g (14日前、4回)

対象病害虫：黒星病・うどんこ病

10アール当り散布量：500^{リットル}

【注意事項】

- ① **黒星病対策**：展着剤ササラ2,000倍を使用する。
- ② アブラムシ類対策：ウララDF2,000倍（14日前、2回）を加用する。
- ③ ケムシ類対策：フェニックスフロアブル4,000倍（前日、2回）を加用する。
- ④ 5月末までは有機リン系殺虫剤（ダズバンDF・ダイアジノン水和剤等）は使用しない。（結実後の生理落果防止のため）
- ⑤ 6月末まではサビの発生しやすい時期であるので、高温時の散布はしない。

【落花期の散布】

散布日：5月 日

散布量：^{リットル}

【ふじの人工授粉のポイント】

- ① 人工授粉を実施する時は、気温・湿度・天候等の授粉環境を複合的に考慮する。⇒ 降雨・強風・極端な低温（最高気温20℃以下）・極端な高温（30℃以上）の日はできるだけ避ける。
- ② 開花始めから満開期までが授粉能力が高い ⇒ 開花始めから満開までの早い時期に実施すると結実率が高まる。
- ③ 授粉後3時間は極端な低温とならないような日・時間帯を選択する。
- ④ 授粉後3時間以内に降雨があった場合は再度やり直す。

果樹特報 No4 発行予定：5/17（金）

内容

- ◆ 5月中下旬（5/17~22）の薬剤散布
- ◆ 5月末（5/25~30）の黒星病特別散布
- ◆ 6月上旬（6/5~10）の薬剤散布